

物事をわかりやすく伝える

こちらに来てから、“なぜ”を追求するようになった。そしてそれを自分なりの言葉でまとめるようになった。それは、ほとんどの授業で“なぜ”が追求され、それをわかりやすく伝えると言う事が多いからである。どのような授業をしているのか少しだけ書こうと思う。

エッセイは Why を追求する

最近エッセイを授業で書くことが多い。エッセイとは日本で言う小論文と思ってもらえたとわかりやすいと思う。エッセイを書くにあたり、“何を書くのか”、“何のために書くのか”、“何を伝えたいのか”、“誰のために書くのか”等を考え、興味を持ちそうな表現(フック)を使い書かなければならない。次に、文章の初めにはトピック(論題)を書かなければならない。この二つが非常に重要であり。僕が感じた風に伝えると、

Introduction (序論)

何について書くのか簡単にまとめて面白く教えて！面白かったら読むから！

Body (本論)

じゃあさ、もっと詳しく教えてよ。段落の始めの一文にはトピックを書いてね！それから本文を詳しく書いていって！じゃないと、何について書いているか推測しないとイケないし、面倒くさいからね。

Conclusion (結論)

最後は本論とかの部分のわかりやすくまとめて、何が言いたかったかを教えて！

という感じである。正直、慣れないうちはとても面倒な作業であるため、私は毎回アウトラインを作製し、文章の大まかな流れを頭に入れ書いている。これをする事によって文章がわかりやすくなる。

この手法は、最近まとめサイト(Web ページ)などでも拝見し、トピックを見ればどのような事が書いてあるのかある程度わかる。

※Never まとめサイトがわかりやすい例である。[\(http://matome.naver.jp/\)](http://matome.naver.jp/)

私自身エッセイを書くときだけではなく、この報告書を書くときにも使っている。私自身国語力や語彙力が皆無に等しいため、これを使わなければもっと酷い文章になっていただろう…。

ちなみにだが、この前ファイルを整理している際、修学基礎で書いた小論文見つけ読んでみたが、ビックリするほど何が言いたいのかわからず、あまりにも酷かったため、私は淡々とファイルを選択しゴミ箱の方にカーソルを送っていた。そして私は、もっと Why を考えて行こうと思った。

プレゼンの勉強方法はスティーブジョブスか TED

次にプレゼンの授業についての話である。プレゼンをするときもエッセイと同じで、“何を、何のために、誰に伝えたいのか”を考えると毎回の様に教わり、例を見せるために毎回の様にスティーブジョブスや TED の動画を見せてくれる。理由として、彼らのプレゼンはそれらの部分がしっかり考えられており、軸がしっかりしている。なおかつわかりやすい英語、デザイン等を使

用しプレゼンをしているからだ。この授業についても、今の自分に活かせるスキルなので凄く楽しい。

表現力を増やすためには豊富な“単語”と“知識”が必要

今一番困っているのが表現力不足である。エッセイを書くとき、文をまとめる作業が多く、同じことを何度も言う必要がある。その際、違った形で言い換えなければいけない。結論を書くときは必ずやらなければならない作業であり、この時に表現力を変える為、“知識”とそれを伝える為の“単語”が必要になってくる。

わかりにくいかもしれないが、『彼は小さい頃天才であった。』という文を本論で書くと、結論では、『少年は神童であった。』と言う風に意味は同じだが、言い方を変えて書かなければならない。※この際にも、良い例を挙げられない理由として、知識(表現力)が無いからである。申し訳ありません。

なぜ、同じことを言っではいけないの？

と感じる人が居ると思う。私自身本当の答えははっきりわからないが、こちらで生活するに至ってわかったことが、アメリカ英語はリズムを大事にしなければならない言語であり、テンポが重要である。なので、同じ言葉を何度も繰り返していると、

“もうその言葉わかったし、その単語何度も使っていて聞き飽きた...”

と言う風になってしまうからだと感じている。そのため違う言葉を使い知的に思わせ、飽きさせないようにしなければならない。

私自身単語力と知識が乏しいため、これがまだまだできていない状態である。会話の方でも支障があり、普通なら一言で終わる事を、同じ表現を何度も使い、しかも三言くらい話さないと伝えることができない。簡単に言うと英語は話せるが、表現力が乏しいため“ダサイ英語”になっている。

どうやって単語と知識を身につけなければ...と思うかもしれないが、これだけは自分で努力するしか無く、頑張りとしか言い方が無い。単語の重要性と表現力の無さが身に染みるほど感じている。

まとめ

授業でこのような事をやっており、“Why”を考えるようになった。なぜなら、Whyを追求すれば答えが見えやすくなるからだ。そして、答えがわかったらそれを相手に伝え、伝えるに至っては表現力や知識が重要になってくる。このサイクルを何度もすることによって、自分の能力になっていくのだとわかった。今後はもう1ステップ、2ステップ先のWhyを追求し、真の答えを導けるようにしていき、それを元に行動していきたいと考えている。

諸事情により、先月の言っていたことと違った報告書の内容になってしまいましたが、来月の方にプロモーション等についてのことを書いていこうと思います。これで12月の報告書を終わります。